

# 平成 26 年 8 月 17 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

司 会 : 片岡洋一兄  
奏 楽 : 小島明美姉  
おいのり : 平松友子姉  
さんび : 新聖歌 301 「わが行く道 いついかに」 1. 2. 3 節  
十 戒  
聖 書 : サムエル記上 3 章 1~10 節 (P.385)

(朗読: 持田樹理姉)

音 楽 : 倉知 契牧師

メッセージ : 「二度名前を呼ばれる時」 倉知 契牧師

賛美と献金 : 明日はどんな日か

頌 栄 : ハレルヤ(B♭)

祝 禱

報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎します。お昼ご飯も一緒に(200円)
- ◇ 来週(8/24)は、特別企画のオープン礼拝+持ち寄り愛餐会  
夏場です。食材に気を付け、教会の冷蔵庫をお使いください。
- ◇ 牧師は今日から4日間、山中湖で学生キャンプ。お祈り下さい。
- ◇ 9月14日(日)は瀬戸カルバリーチャペル献堂8周年記念ミサ  
ゲストはソプラノの西由起子さん。あと1ヶ月です。祈りつつ、  
ご家族ご友人をお誘いしましょう。チラシをお用ください!
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大Aコース ローマ10章~15章 Bコース 詩篇88篇~106篇

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年8月24日] [愛餐会]  
[司会: 小木秀夫兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 大神久美姉]  
[ピアノ: 小島明美姉、賛美リード: 小島 誠兄]  
[アシスト: 加藤由美子姉、大神美乃姉]  
[献金: 太田昌子姉、持田樹理姉、受付: 赤塚孝子姉]  
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄  
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神久美姉



宮城県仙台に本社のある日刊新聞のコラムにこんな記事が載っていました。  
靴を買いに行った時のこと、店員が「右だけ擦り減る人がいます。重心のかけ方の違いからです」。話を合わせるように、河北川柳で〈安倍さんの片減りの靴音高し〉。憲法9条はそのままにして、読み方を変えて集団の自衛権を使えるようにしたいと。(中略) 山登りは思い込みを恐れるという。山中迷い、真っすぐ下山しているつもりでも歩き足はそれる癖がある。円を描いてまた同じ所に戻ってしまう。近づく軍靴の音、いつか来た道に戻らないと誰が言えよう。(5月17日河北新報)

偏らず両足で立つことの大切さです。詩篇85篇に『恵みとまこととは、互いに出会い、義と平和とは、互いに口づけしています。(新改訳)』とありますが、本当の正義は自己主張をして他者を一刀両断するのではなく、平和を造りだす人のこと。『恵みとまこととはイエス・キリストをとおして来た(ヨハネ1の17)』とあるように、本当の和解は、この「おひとかた」を通して与えられるのでしょうか。

以下はマザー・テレサが最も愛した祈りとして知られています。社会が片足歩行になるとき、キリスト者がもう片方となりますように、祈りをこめて。

## 平和の祈り (アッシジの聖フランチェスコ)

ああ主よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。  
憎しみのあるところに、愛をもたらすことができますように。  
争いのあるところにゆるしを、分裂のあるところに一致を、  
疑いのあるところに信仰を、誤りのあるところに真理を、  
絶望のあるところに希望を、悲しみのあるところに喜びを、  
闇のあるところに光をもたらすことができますように。  
ああ主よ、わたしに、慰められるよりも、慰めることを、  
理解されるよりも、理解することを、  
愛されるよりも、愛することを求めさせてください。  
わたしたちは与えるので受け、ゆるすのでゆるされ、  
自分自身を捨てることによって、永遠の命に生きるからです。  
アーメン

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

「力を捨てよ、  
国々にあがめられ、  
われ。わたしは神。  
この地であがめられる。」

詩篇四十六の十一(新共同訳)